

泌尿器科紀要

第 3 卷 第 2 号

昭和 32 年 2 月

綜説 尿路結石症の治療	矢野 登	97
泌尿器科 X線検査に於ける最近の経験 附 連続血管撮影法に就て	後藤薫・大森孝郎・仁平寛巳・酒徳治三郎・ 日野豪・片村永樹・大島吉弘	99
泌尿器疾患に於ける Phosphatase の組織化学的研究 第 II 篇 腎臓及び副睪丸結核病巣に於ける Phosphatase	三浦武芳	122
泌尿器だに症について	片村永樹・村上仁勇	132
泌尿器科領域に於ける凝固酵素トロンビンの応用	鮫島 博	138
泌尿器科領域に於けるクロールプロマジン、塩酸プロメタジンの併用効果に就て	石神襄次・高木峻徳・森昭	143
泌尿器科手術に対する強化麻酔薬パカタルと腰椎麻酔との併用	稲田務・後藤薫・日野豪・八田栄造・卜部敏人・村上仁勇	148
Kallikrein の泌尿器科的応用	稲田務・後藤薫・仁平寛巳・日野豪・片村永樹	159
ハイベックによる排泄性腎盂撮影法	稲田務・後藤薫・日野豪・八田栄造・片村永樹	164
英文抄録 (2 卷 1 号)		174
編集後記・購読要項・投稿内規		179

Recent Study on Roentgenography in the Realm of Urology : Supplementation : Serial Angiography	K. Goto, T. Omori, H. Nihira, J. Sakatoku, T. Hino, E. Katamura and Y. Oshima	99
Histochemical Studies on Phosphatase in Genito-Urinary Diseases Report II : On Phosphatase in Tuberculosis of the Kidney and Epididymis	T. Miura	122
On the Acariasis in Urinary Tract	E. Katamura and M. Murakami	132
Practical Application of THROMBIN in our Urological Clinic	H. Sameshima	138
Use of Chlorpromazin (WINTERMIN) and Prometazin Hydrochloride (PYRETIA) in Urology	J. Ishigami, T. Takagi and A. Mori	143
Use of a potentiating anesthetic (PACATAL) at the Lumbar Anesthesia for Urological Operations	T. Inada, K. Goto, T. Hino, E. Katamura, T. Urabe and M. Murakami	148
Application of KALLIKREIN in the Urological Field	T. Inada, K. Goto, H. Nihira, T. Hino and E. Katamura	159
Intravenous Pyelography with HYPAQUE	T. Inada, K. Goto, T. Hino, E. Hachida and E. Katamura	164
Abstracts (Vol. 2, No. 1)		174

京都大学医学部泌尿器科教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Japan.泌尿紀要
Acta Urol.

編集後記

本誌会員各位に申し上げます。本誌に就きましては平素より格別の御後援を頂き厚く御礼申し上げます。おかげ様にて順調に生長、発展しており、喜ばしき限りであります。一面には原稿が漸く輻輳して参り、従来の様な隔月発行にては原稿が渋滞する惧れが生じて来ました。之は著者に対してまことに相すまぬ事でありませう。そこで論文の誌上掲載を出来るだけ早くするために毎月発行に変更したいと思います。早速ながら3巻1号よりその様に取り計らいたいと存じますので、事情御諒承の上にて今後とも引続き会員として御援助賜ります様にお願ひ致します。尚御寄稿に就てもお願ひ致します。



従来は年6回発行、前金600円(送料共)でありましたが、3巻よりは年12回発行、前金1,000円(送料共)に致しますので、御諒承をお願い致します。

論文中の図表は欧文で記して頂くのがよろしい。そうすれば欧文抄録と図表だけで外国人にも大略の要旨が理解出来ると思ひます。欧文抄録は内規にもある様に300語以内をお願いします。

前号3巻1号岡氏の論文中13頁右側26行目に脱字あり、28と記入して頂きます。茲にお詫び致します。

同号33頁に乱丁のものがありましたら御知らせ下さい。お取換え致します。



泌尿器科の論文を発表するのはどの様な雑誌がよいであろうか。雑誌の種類を大別すると総合雑誌と専門雑誌であり、各大学発行のものは前者の中に入る。臨牀的な総合誌は発行部数は多いが内容は内科的なものが大部分を占め、読者も内科関係者が多いのではなからうか。従つて泌尿器科の論文を掲載するとしても綜説的なもの或は実地医家向きのものが適当であろうと考えられる。大学雑誌は多くの泌尿器科専門家の目に触れることは割合に少いのではなからうか。大学雑誌に載せねばならぬ場合もあろうけれども実際には専門家が読む事は少いであろう。この様に考えてくると泌尿器科論文の様に比較的特殊なものは、多数の専門医家に読まれると云う点から、やはり泌尿器科の専門誌に掲載するのが最も適当であると思われる。然し之に就ては更に精しく考え、紙幅も充分に費して論ずる必要があらう。

購読要項

1. 発行は毎月(年12回)とする。
2. 会員は年間料金1,000円を前納する。1冊料金100円、払込みは振替口座番号京都4772番泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨牀報告、その他、寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない、400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例、中野：泌尿器要、1：110、昭30。Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527. 1941.
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を附け、なるべくタイプライターを用いること。
6. 掲載料は4頁迄毎頁500円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈。それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は編集者が行方が希望により著者校正とする。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部